

ながおか

# 建設だより

第80号

平成28年1月15日発行

一般社団法人  
長岡市建設業協会

長岡市三和3丁目8番地  
TEL 0258(32)3206代  
sikyokai@nct9.ne.jp

編集 総務委員会  
印刷所 北越印刷株式会社

## 建設工事が進む大手通表町西地区市街地再開発事業

〈写真撮影：総務委員会 田中祐紀彦氏〉

### 新年にあたって



一般社団法人 長岡市建設業協会

会長 星野光雄

新年明けましておめでとうござ  
います。謹んで新春のお慶びを申  
し上げます。

さて、担い手三法の本格的な運  
用が開始され、平成二十七年  
度から新しい基準等に基づいた入札制  
度が施行されなど、業界を取り巻  
く環境は大きく変化しております。

これまで、長岡市との意見交換  
会や検討会などを通して、長岡市  
発注工事の施工上の問題点や設計  
変更などに対し、多くの項目で改  
善が進んでおります。

新しい制度が運用されるなかで  
さらに改善が必要な項目や適正な  
予定価格の設定、工事発注の平準  
化、適正な工期の設定など、引き  
続き要望活動を行ってまいります。

また、建設業界への若者の入職  
促進や定着を始めとした「担い手  
の確保と育成」対策にも、関係す

る諸団体と連携を図りながら積極  
的に取り組んでまいります。

協会は今年、創立七十周年を迎  
えますので、協会の使命と目的を  
しっかりと踏まえ、これからも社  
会資本の整備を通じて、地域の安  
全と安心を守り、地域社会の発展  
に貢献してまいりたいと考えてお  
ります。

今後とも厳しい経営環境が予想  
されますが、建設業の魅力向上と  
様々な課題の解決に向けて取り組  
むとともに、公益目的計画に沿っ  
た事業を展開してまいりますので  
皆様のご支援とご協力をよろしく  
お願い申し上げます。

結びに皆様のますますのご発展  
とご多幸を心から祈念いたしまし  
て、ごあいさついたします。

## 市民の底力を結集し、 夢と希望が持てる長岡に



長岡市長  
森 民 夫

明けましておめでとうございませす。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長岡市建設業協会の皆様におかれましては、日頃より社会資本の整備・維持並びに緊急時の対応など、日夜を問わず御尽力をいただき心より感謝を申し上げます。

長岡市は今年、地方創生に向け「長岡リジユベネーション」長岡若返り戦略」をしっかりと進め長岡に住み続ける「若者」、戻ってくる「若者」、新たに移住してくる「若者」を温かく迎え、愛着と誇りの持てる「ふるさと長岡」を創ってまいります。

赤ちゃんからお年寄りまで二十八万市民の誰もが、安全・安心で健康で元気に暮らせるように、通学路の安全対策、バリアフリー化

など人に優しい道路事業を推進するとともに、生活の基盤となる除雪体制の強化や浸水対策、道路・下水道などの老朽化対策をさらに進めてまいりますので、貴協会のみならずのお力添えをお願い申し上げます。

また、産業の活性化や交流人口の増加に資する幹線道路ネットワークの充実にも取り組みます。フェニックス大橋や左岸バイパスの開通は、地域間の連携強化に大きな役割を果たしています。引き続き、長岡北スマートインターチェンジの設置、長岡東西道路の国道十七号への接続、左岸バイパスの南北延伸など、まちの骨格となる道路整備を重点的に進めてまいります。

今後、長岡市建設業協会と市で「ふるさと長岡」を愛する皆さんの願いをしっかりと受け止め、未来に夢と希望があふれる長岡を一緒につくっていきましょう。

結びに、本年が皆様にとつて幸多い年となるようお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

## 新年のご挨拶



長岡労働基準監督署長  
羽 賀 政 昭

明けましておめでとうございませす。会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は当署の業務全般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の景況については、上場企業の営業損益は改善しているものの、地域の景況感悪化との情報もあり、雇用や賃金の改善も今後の推移を見守っていく必要があります。このような環境下、本年も次の対策に取り組んでまいります。第一に、安全と健康確保対策です。昨年の労働災害は、減少傾向を示しています。さらに労働災害を減少させるために、全業種共通する課題として「転倒災害防止対策」、「交通労働災害防止対策」の徹底を推進してまいります。勿論、従来から進めている、墜落・転落

災害の防止、車両系建設機械による災害の防止、機械によるはさまれ・巻き込まれ防止などの対策はもとよりです。

なお、昨年七月から足場からの墜落防止のための措置を強化する改正労働安全衛生規則が施行されていますので徹底願います。

また、昨年十二月から施行された「ストレスチェック制度」の実施により、働く人のメンタルヘルス不調を防いで、イキイキとした職場環境づくりをお願いします。

第二に、労働条件確保対策です。「ブラック企業」、最近では「ブラックバイト」も話題になっています。窓口には、長時間労働、不払い残業の相談が寄せられています。適正な労働条件確保のために、長時間労働を抑制する指導を、また、賃金不払い残業の解消を目指した労働時間管理の適正化対策を推進してまいります。

今年も「笑顔で行ってきます」と言い、笑顔で只今と言える職場づくりのお手伝い」のため取り組んでまいります。最後になりましたが、会員各位の益々のご繁栄とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 新年のご挨拶



長岡警察署長  
皆川 宏 人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。長岡市建設業協会の皆様からは、日ごろより警察活動各般にわたり深いご理解と多大なるご支援をいただいておりますことを心より感謝申し上げます。

長岡警察署管内では、昨年十月には四人組み外国人による万引事件で犯人が山中に逃げ込むなど、住民の皆様には大きな不安を与える事件も発生しましたが、住民の方々のご協力等により早期に全員を検挙することができました。また、当署管内では、高齢者の方を狙った特殊詐欺、中でもオレオレ詐欺の被害が三十件を超え、被害額も五千万円を超え急増しており、高齢者の方が犠牲となる交通死亡事故が連続発生し、パトカーや制服警察官を大量動員して交通死亡事故シャットアウト緊急

対策を実施したところです。

その他、子供や女性に対する声掛け事案や不審者の出没、住宅を対象とする空き巣事件の連続発生など、住民の皆様への体感治安の向上のための課題が、まだまだ山積しております。

長岡警察署といたしましても、新年を迎え決意を新たに犯罪や交通事故のない安全で安心な地域社会を実現するために全力で取り組んでまいります。警察の力だけでは限界があります。協会の皆様をはじめ、長岡市や関係機関・団体、さらには管内の住民の方々の連携により目的を達成することができますものと思っておりますので、今後、より一層のご支援をお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健康と協会の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 環境美化活動の実施

今年度の環境美化活動は、小国地域に引き続き、長岡地域と越路地域で実施しました。

長岡地域では、「長岡まつり大花火大会」会場の早朝清掃活動に八月三日は二十八社、七十四名、八月四日は三十社、七十八名が参加しました。

越路地域では、十月十一日の「こしじ秋まつり」会場の清掃活動に六社、十六人が参加しました。

今後の予定としては、栃尾地域で平成二十八年二月六日、七日に開催される「とちお遊雪まつり」の会場設営に、また、山古志地域では、三月十二日に開催される「古志の火まつり」の清掃活動に地域の会員が参加する予定です。

### 会員の異動について

会社名	変更前	変更後	変更日
高正建設株式会社	高頭正毅	高頭明紀夫	平成27年11月1日

※会員数（平成28年1月1日現在）82社（正会員71社、準会員11社）



# 土木工事安全パトロール

工事現場の周辺環境に配慮した安全管理の徹底を！



から参加いただき実施しました。

道路改良工事と電線共同溝整備工事（長岡市学校町三丁目地内及び長岡市沖田二丁目地内）の三箇所の現場をパトロールし、長岡建設会館二階ホールにおいて講評・指導会を開催しました。

講評・指導では、工事車両の誘導と出入り口の安全対策、飛散防止ネットを活用した資材の整理整頓、工事車両の車止めの設置と未使用重機の施錠、トイレを含めた事務所環境などが適切に管理されていることが報告されました。

また、工事現場の周辺には高校や商業施設があり、歩行者を含めた交通量が多いため、夜間や休日の安全対策の徹底と作業員の事故防止に細心の注意を払って作業を進めるように指導がありました。

今回の指導等の内容を踏まえ、それぞれの作業現場でさらに安全管理を徹底し、良好な現場環境の維持に努めましょう。

九月十五日、技術委員会主催の「土木工事安全パトロール」を会員四十四名のほか、長岡市土木部道路建設課、長岡労働基準監督署建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会の安全指導者の皆さん

## 視察研修会

技術委員会主催の「視察研修」は、十月十三日（火）、世界遺産「富岡製糸場」を視察しました。

群馬県では古くから養蚕、製糸織物といった絹に関する営みが盛んで、これらのうち、富岡製糸場田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴を構成資産とする「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、平成二十六年のユネスコ世界遺産委員会で世

界遺産一覧表に記載されました。

富岡製糸場の特徴的な東置繭所は、木で骨組みを造り、柱の間は煉瓦を積み上げて壁を造る「木骨煉瓦造」という工法で建てられています。また、初期の建物の煉瓦の積み方は、煉瓦の向きを長い面と短い面を交互に並べていく積み方で「フランス積み」と呼ばれています。この方法で積まれた煉瓦壁は美しく見える反面、壊れやすいといわれていますが、「木骨煉瓦造」の採用で現在もほぼ当初のまま残されています。



さらに、繭から生糸を取る「操糸所」の小屋組には「トラス構造」という従来の日本にない建築工法を採用し建物内部は中央に柱のない広い空間が保たれています。

施設からは、当時の工女たちの生活の様子も知ることができました。

## 会員研修旅行

# 広島

今年度の会員研修旅行は、九月二十七日(日)から二十九日(火)までの三日間、五十名が参加し、広島県の海上自衛隊呉地方総監部の艦艇一般公開をはじめ、大和ミュージアム、世界文化遺産「原爆ドーム」「宮島」と山口県の城下町「萩」などを訪ねてきました。

## 近代化の歴史を未来へ

全長二六・三メートルもある十分の一戦艦「大和」をはじめ、零式艦上戦闘機六十二型、人間魚雷「回天」などの実物資料が展示されている呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」。「呉の歴史」は明治以降の日本の近代化の歴史そのものであり、歴史を未来へ伝



える役割を担っています。

また、日本で初めて実物の巨大潜水艦を陸上展示する「海上自衛隊呉資料館(愛称)てつこのくじら館」。潜水艦の発展と現況や掃海艇の戦績と活躍などに関する歴史的な資料を通して、海上自衛隊の歴史や呉市と海上自衛隊の歴史的なかわりについて学ぶことができました。

## 艦艇の一般公開

海上自衛隊呉地方総監部では、日曜日に艦艇や第一庁舎の一般公開が行われています。この第一庁舎は、映画「連合艦隊司令長官山本五十六」のロケが行われた場所であり、日没から午後十時まで庁舎のライトアップも行われてい

ます。

今回は、普段なかなか見学する機会のない艦艇を、実際の基地で見学してきました。

## 世界遺産と城下町「萩」

広島の中の二つの世界遺産、平和都市広島を象徴する原爆ドームと日本史の重要な舞台となった安芸の

宮島・厳島神社、さらに近代日本の夜明けを告げた人々を多く輩出した城下町「萩」。

このほか、広島オープンや日本女子オープン選手権競技などが行われた名門ゴルフ場でのゴルフなど、多くの体験と世界遺産を訪ね出しに残る有意義な研修旅行となりました。



# 長岡市技術職員（長岡市建設技術協会）との意見交換会



十一月二十六日、ながおか市民センター地下A会議室において、長岡市技術職員（長岡市建設技術協会）と長岡市発注工事について意見交換会を開催しました。今回で三回目となる意見交換会では、過去二回の意見交換会での意見や要望事項などを踏まえ、「工事請負契約における設計変更の進め方」と題して、長岡市建設技術協会三本副会長から設計変更を行う根拠、設計変更が可能なケースなどについて、講習と質疑応答が行われました。

設計変更に対する考え方を共有するとともに、発注者と受注者がコミュニケーションをしっかりと取り合っ

て工事を進めていくことが確認されました。

# 建築工事安全パトロール

現場の連絡調整をしっかりと行って安全管理の徹底を！

技術委員会による「建築工事安全パトロール」を、十二月二十一日、長岡市教育委員会教育部教育施設課、長岡労働基準監督署、建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会の安全指導者の皆さんから参加いただき実施しました。

前川小学校校舎・児童館（児童クラブ）増築工事（長

岡市前島町地内）のパトロールと現場事務所において講評・指導会を開催しました。

講評・指導では、足元の安全を確保するため配線環境を整理するなど、細かなところまで安全対策が実施されており、全体を通して整理整頓がしっかりと行われ、良好な現場管理が徹底されていて素晴らしいと評価を受けました。



また、墜落事故の防止の徹底を図るため、足場の隙間をなくすことや安全標示については、表示内容の目的に沿った注意喚起が作業員に伝わるように工夫して欲しいと指導がありました。



今回の指導等の内容を踏まえ、これからも現場での連絡調整をしっかりと行って安全管理を徹底し、良好な現場環境の維持により無事故で工事を完成させましょう。

# 長岡市建築工事設計変更ガイドラインの検証結果の報告

平成二十三年三月に制定された「長岡市建築工事設計変更ガイドライン」の運用状況について検証を行うため、技術委員会に「長岡市建築工事設計変更ガイドライン検討委員会」を設置し、昨年度と今年度の二か年をかけて検証作業を行ってきました。

検証に当たっては、長岡市と意見交換会を実施し、建築工事施工

上の問題点や改善が必要な事項について要望も行いました。

十二月四日に開催された今年度四回目の検討委員会で検証結果がまとまりましたので報告します。

## ガイドラインは現行のまま

ガイドライン制定後は、ガイドラインに基づいて設計変更の業務が履行されており改善が進んでいる。

また、ガイドラインの表現や字句についても細かく検証作業を行ったが、現行のままでも今後とも運用することに決定しました。

## 主な要望事項

○設計変更が認められるケースが多くなってきたり、適正な方向に進んでいるが、今後とも、やむを得ない変更については柔

軟な対応を行って欲しい。

○建築J-V工事における評価点の取扱いについて、共同企業体の参加各社に工事の成績点を反映して欲しい。

○小規模な工事の設計単価については、参考見積の徴取等、実態に即した設計単価として欲しい。  
○仮設工事の設計数量については工事費の内訳を細分化して明示して欲しい。

○降雪時期の工事に関しては、除雪の範囲や養生内容を詳細に明記して欲しい。

これに対し、長岡市からは、要望の内容を踏まえ現場に即した工期の設定や費用の見積もり、適正な時期の発注などを徹底したい。  
なお、疑義等が生じた場合には監督員と充分協議をして欲しい。

また、制度の運用に関しては、県の動向を注視しながら県の制度に準拠して対応したいと回答があり、今後とも積極的に情報交換を行っていくことにしています。



長岡市建築工事設計変更ガイドライン検討委員会委員

委員長	櫻井正行	長岡土建工業(株)	委員	米持直人	(株)中越興業
委員	阿部義明	(株)池田組	委員	野村耕二	(株)中元組
委員	渡辺豊彦	(株)大石組	委員	木村雅雄	(株)山崎組
委員	渡辺安夫	共榮建設(株)	委員	永井和男	渡長建設(株)

## 会員親睦ゴルフ大会



会員親睦ゴルフ大会が秋晴れの十月二十七日(火)、長岡カントリー倶楽部で開催されました。上位入賞者は次のおりです。

優勝 星 春夫さん(椿建設)  
準優勝 関川卓至さん(関川組)  
三位 水澤一昌さん(永井工業)  
ベストグロス賞

伊藤芳也さん(伊藤建設)



関川卓至さん 星 春夫さん 水澤一昌さん

# 人生の楽園

長岡土建工業(株) 櫻井 正行



私は、総合建設業を経営の傍ら農業を営んでいます。いわゆる兼業農家です。

我が家は、先祖代々耕作してきた田畑がありましたので、稲作を中心に行っていました。

八十代の父母をはじめとして家族全員で協力し、おいしいお米を作っています。

若い頃は建築の仕事が忙しく、夜間や休日も出勤することが多かったため父母や妻に負担をかけた

てきました。

学校や職場の田植休み、稲刈休みなどが一般的ではなくなり、米価も下がる一方でしたので、誰かに委託してしまおうかと思うことも度々ありました。

利益が出ず、手間と費用ばかりがかさむわけですから、多くの小規模農家は委託の方向に進んで行きました。当然の選択です。

しかし、友人や知人が稲作経営から離れて

いくのを見て、私は本当にこれでいいのかと考えました。

「一足のわらじを履いて頑張る人もいる、兼業主婦もいる、建設業だけで自分だけでは本当に満足なのか、いい人生なのか」と。そこで私は考え方を

変えることにしました。

「稲作は利益のために行うのではない、自分の心と身体の鍛錬のために趣味で行うのだ」と。

そして「おいしいお米を食べる人たちの顔を思い浮かべて喜びを感じるのだ」と。

最近の農業は機械化が進み、手間はかからなくなりましたが費用はかかります。

小さな経営面積でもトラクターや田植機、コンバイン、乾燥機、調整機、精米機等々が必要です。

新品はなかなか買えないので、稲作をやめる人たちから安く譲り受け、休日と朝晩を利用して稲の管理をしています

小規模ながら一から稲作を行い三月は苗床作り、四月は土壌作り五月は田植え、六月は水管理と草刈り、七月から八月は草刈りと共同防除、九月に稲刈り、乾燥、調整を行い出荷に至ります。

約七ヶ月の趣味(闘い)を満喫しています。建設業で流す冷や汗や脂汗ではない、清々しい汗を流したことに感謝しながら新米をいただきます。

今年もいいお米ができました。エコ五・五特別米として検査機構

一等米をいただくことができました。満足感と安堵感で一杯です。

還暦も近くなってきた私は、自給自足の生活を目指して、稲作に加え野菜作りにも励むことにしました。

春夏は、きゅうりやなす、トマト、アスパラ、ピーマン、南蛮等秋には、キャベツやブロッコリー、大根、白菜等を作っています

冬は収穫した野菜で、各種の漬物作りをしています。一年を通して、毎日が楽しく忙しく過ぎて行きます。

地球環境の変化などにより訪れるかもしれない食糧難の時代には本業として社会に貢献できるかもしれない

私の先祖は、農業をしながら様々な仕事をしていました。3K(厳しい、苦しい、きつい)を乗り越えて、人生を送ったことと思います。私も先祖に学んで、これからの人生を過ごそうと思います。多くの学びと経験が、きっと私を『人生の楽園』に連れて行ってくれると思います。